

2022ワークキャンプ 16 11/23～25日 天水水道装置凍結防止、穴掘り、キャビン  
穴修理、便層のバキューム、天水装置止水栓設置、雨樋撤去（雪対策）など

11月23日、松田の家を6時に出発、祭日なので通勤の車もなくスムーズに移動できると予測していた通り、山中湖・河口湖・甲府盆地といつもより早く移動できたので、「つるや」で食料の買い出しをして山荘に着いたのは11時ごろでした。今日は前線の通過で一日中雨ふりの天気予報です。荷物をログハウスに移動してから、横浜市の備蓄倉庫から正味期限が近づいた「水の缶詰17ケース」、「パンの缶詰」そして「非常災害用クラッカー」を頂いてきたのでホールの台所に保管しました。水の缶詰は一箱20kgぐらいあって、腰に負担がかかります。少し痛めたかもしれません。

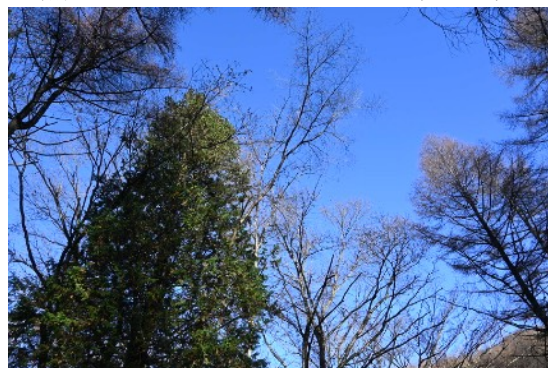
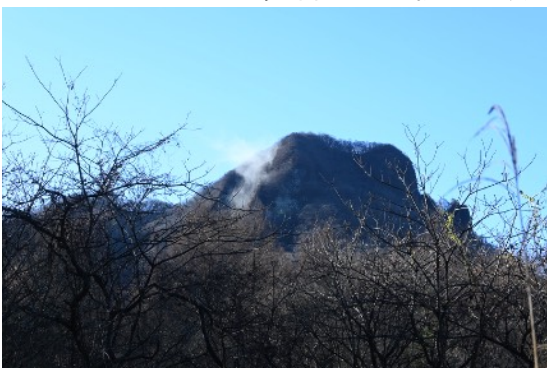


ログハウスに戻って、薪ストーブを点火、雨降りでお昼ご飯は温かい麺類にしました。

今日はもうやることがないので、持参した本を薪ストーブの前で読んでいると、いつの間にか寝てしまいます。遠赤外線は心地よく、これではいけないと、ビールを飲んで目を覚まし、また読書！しかしまた寝てしまい21時ごろ目を覚まして、今夜はロフトに上がって寝ることにしました。ロフトは薪ストーブの熱気で25℃ぐらいに暖かくなっているのでエアベットを膨らまして、寝袋に入ると直ぐに寝てしまいました。

11月24日（金） 外気温4℃ 室内15℃ 快晴

昨夜は早く寝たので5時ごろ目が覚めてしまい、外はまだ真っ暗で星が空一面に輝いています。寝袋の中で明るくなるまでもう少し寝ることにしました。6時に起床、外はうっすら明るくなっています。薪ストーブを焚いてほうじ茶を飲みながら、ラジオを聴いて今日の予定を考えます。尾方さんは9時ごろに到着予定、朝ご飯のヨーグルトを食べてから身支度をして7時30分頃に場内を散策、東から朝日が差し込んできて、きれいです。雨が降ったので空気中の塵も落ちているからだと思います。兜岩山から朝日で暖められた蒸気が上がっています。もう少し寒くなると







霧氷で山が真っ白になります。唐松の葉が落葉したので、森にいっぱい太陽の光が入ってとても綺麗です。空気は乾いていて肉体労働するにはよい季候なので、ログハウスに薪運びをしました。来年使う薪も割らなくてはなりません。

9時ごろに尾方さんが到着。雨水タンク水道の凍結防止対策として、倉庫にあった「プチプチ」クッション材で水道管を保護します。900mm×1800mmのクッション材を丸めて短冊に切って包帯状にして水道管に巻き付けます。水道管は複雑な配管なのですが、何とか全ての露出管にクッション材を巻いて、次回は保護テープを巻けば仕上がります。下の写真は雨水タンク



からポンプまでの配管に「止水栓」を追加しました。凍結防止のために、ポンプの「ドレン」（水抜き）を開けると、サイフォン現象で、雨水タンクの水が全部出てしまいます。井戸用ポンプなのでポンプの位置は水面よりも通常上部に在るのですが、設置場所が低いために、このような現象になってしまいました。そこで、雨水タンクとポンプをつないでいる水道管の一番高い位置に「止水栓」を取り付けました。これも手作りで、雨水利用の装置を作ったので「やってみなければ分からない」一つ一つ修正しながら出来上がります。

次は雪害対策で「雨樋」を外して収納しました。大自然のひろばにはあまり雪が降りませんが、冬の間には何度か積雪が在ります。私の経験では4月の初旬に大雪になったことがあり、その大雪は





佐久盆地を3日間閉ざしてしまいました。写真は2019年4月10日の朝、目が覚めたら雪景

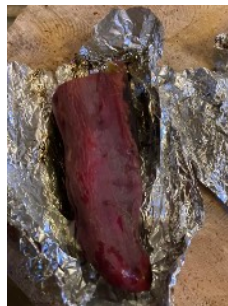


色、車で移動できなくなったので徒歩で帰ることにしましたが、バス停までは1時間。バスは朝2便、夕方2便のスクールバスです。もう間に合わないので、車は置いて翌朝まで待機しました。



お昼ご飯は「キノコたっぷり海鮮多めの長崎ちゃんぽん麺」をいただきました。午後からは暇になったのでワインを開けて、読書！

夜は薪ストーブで椎茸を焼いて、サツマイモで焼き芋を作り（美味しい）夕食にしました。



2018/4/9 ログハウス前

山中野営場の場長だった佐久間宣吉氏が11月16日に癌で亡くなりました。享年75歳  
大自然のひろばには3回ほど訪問してくれて、私も時間があるときには長坂のご自宅に寄り道して色々とお話しをさせていただきました。  
11月25日にご自宅に行ってお線香を上げてきました。教えていただいたことを次世代に伝えたいと考えています。ご冥福をお祈りします。